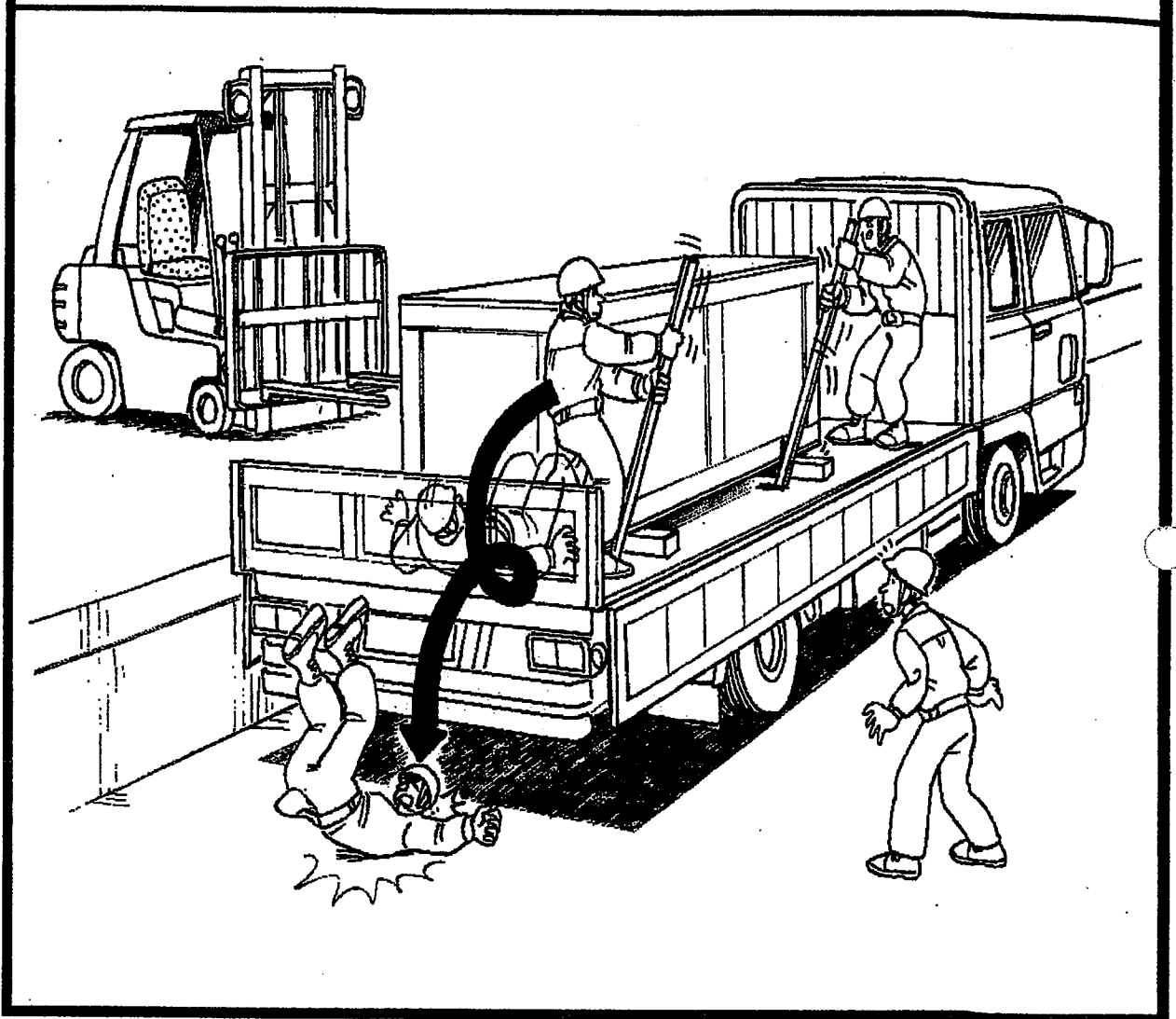
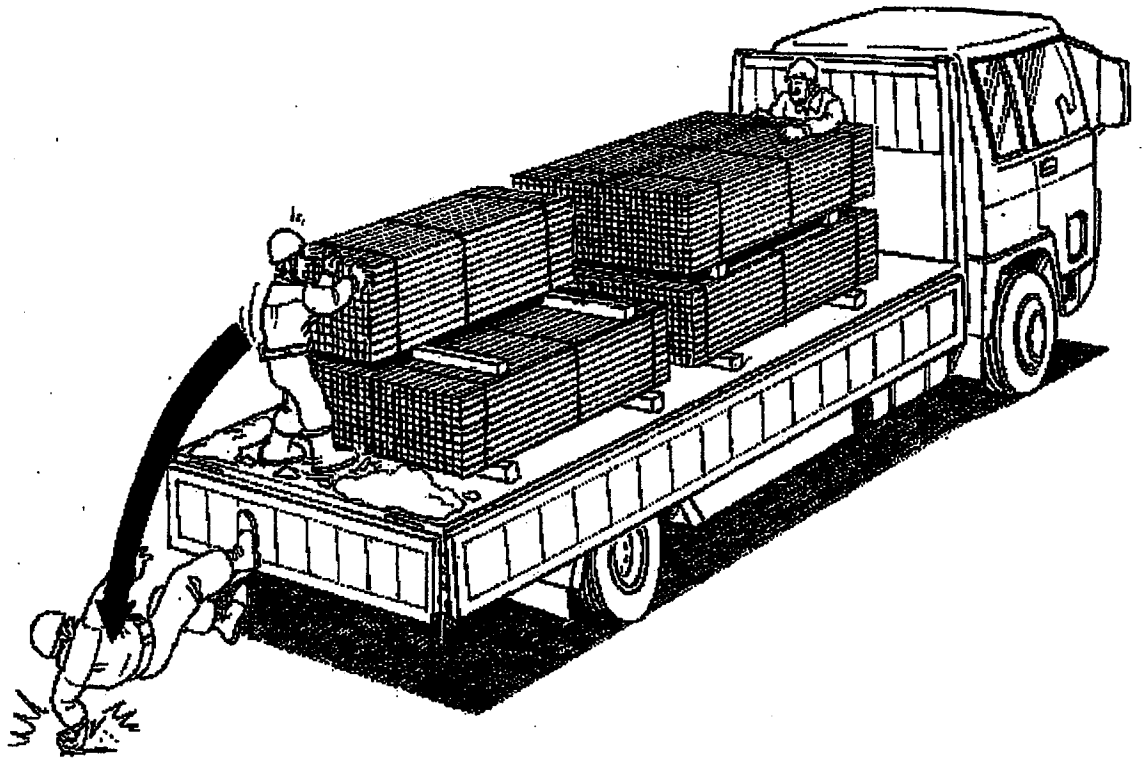


鋼製建具部材荷取り作業中、トラック荷台より転落（死亡災害）



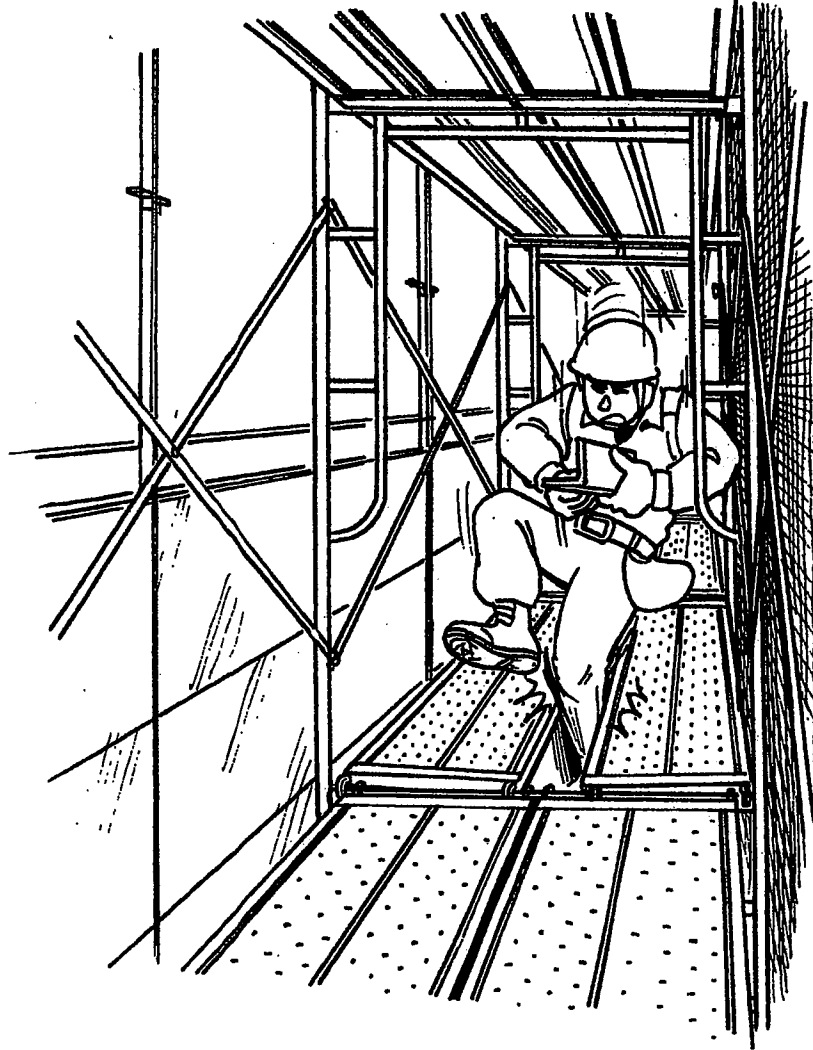
建築	工種:金属建具工事	事故の型:墜落・転落
事故の分類	発生日時・天候:2000. 6. 10(土) 9:10 曇	起因物 :トラック
	被災内容:頸椎損傷	損失日数:7,500日
	職 種 :建具工	請負関係:3次
事故の発生状況	経 験:21年0ヵ月	年 齢:62才(男)
	発生状況	被災者はトラック荷台から部材(650kg)の荷取り作業中、部材を角材を用いて移動させていたところ、荷台から転落し、死亡した。
	原因	・被災者は荷台上で重量物を移動させようとした。
	対策	・荷台上では無理な作業はしない。

トラックの荷台より転落し、左手首を骨折



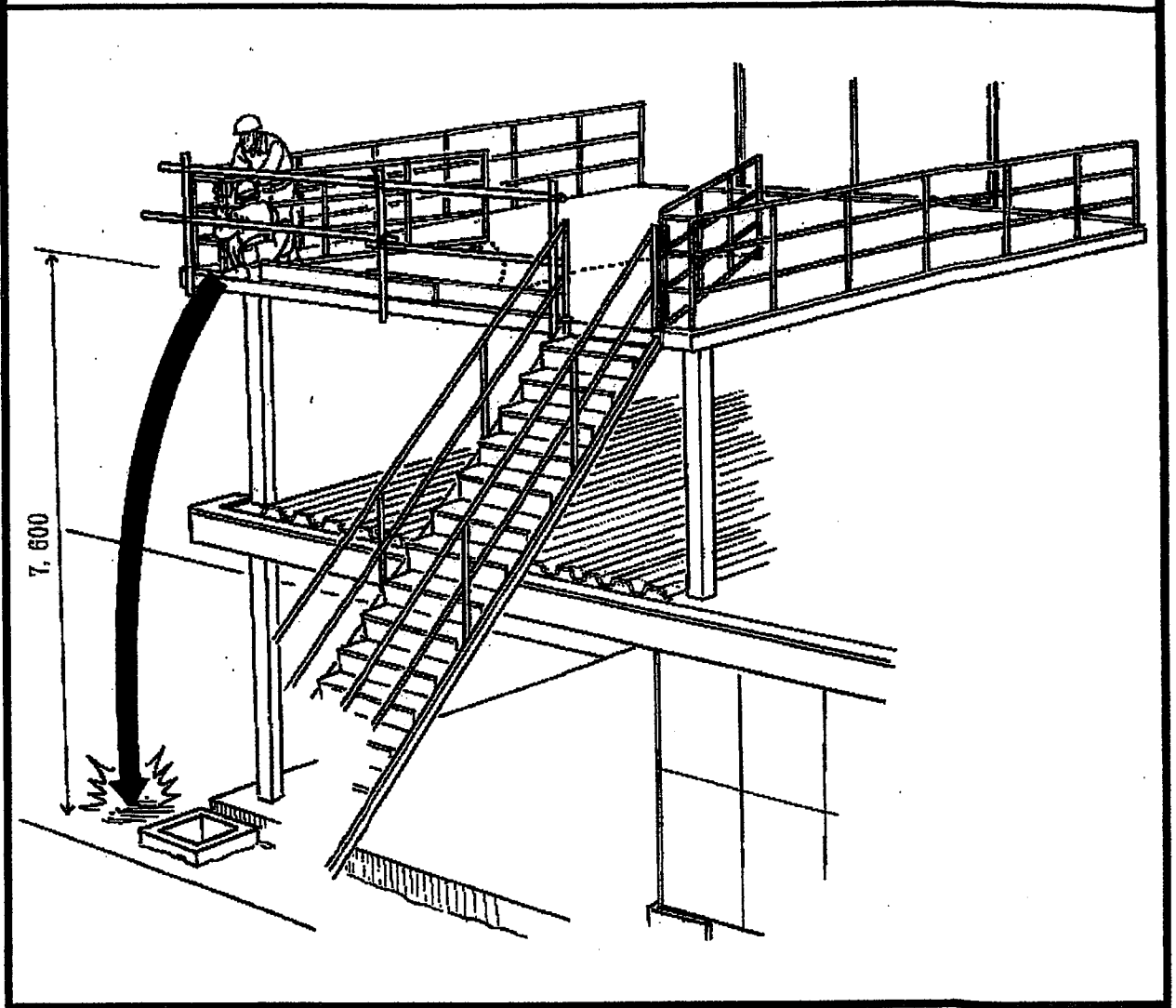
建築	工種: 内装工事	事故の型: 墜落・転落
事故の分類	発生日時・天候: 2001.3.9 (金) 10:00 晴	起因物: トラック
	被災内容: 左手首骨折	損失日数: 9日
	職 種: 普通作業員	請負関係: 1次
事故の発生状況	経 験: 0年5ヵ月	年 齢: 37才(男)
	発生状況	フォークリフト運転手とともに軽量鉄骨下地材の荷取り作業中、トラックの荷台上で梱包を取ろうとしたところ、荷台に残っていた昨夜の雪で足を滑らせ墜落した。
	原因	被災者はトラック荷台の端部で作業を行った。
対策	荷台の端部では極力作業を行わない。	

足場上を歩行中、布板の隙間に足を取られ膝を負傷



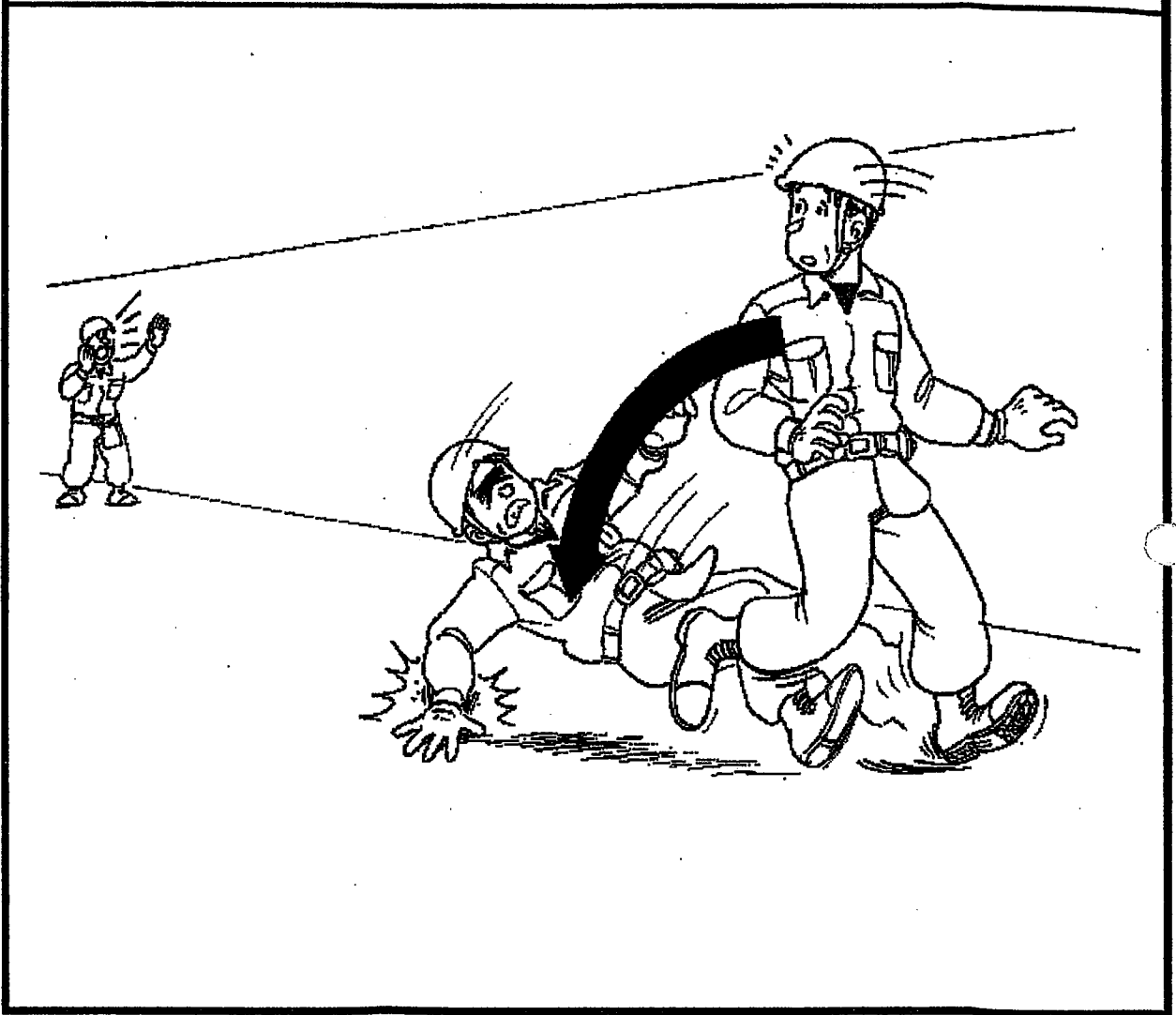
建築	工種:ブロック・レンガ工事	事故の型:転倒
事故の分類	発生日時・天候:2000. 7. 3(月) 11:00 晴	起因物 : 枠組足場
	被災内容:左膝靭帯損傷	損失日数:11日
	職 種 : 組積工 (ALC)	請負関係:2次
	経 験:1年0ヵ月	年 齢:23才(男)
事故の発生状況	発生状況	被災者は外壁ALC取付作業中、荷重受けのアンクルピース(50×50×4 L=100)を持って足場を歩いていた際、布板の隙間に足を取られて踏み外し、左膝内側を損傷した。
	原因	・布板と布板の間に隙間(9cm)があった。
	対策	・布板が開かぬよう結束を行う。日常点検を確実にを行う。(隙間は3cm以下)

屋上で開閉扉の丁番取付け中、手摺の隙間から墜落（死亡災害）



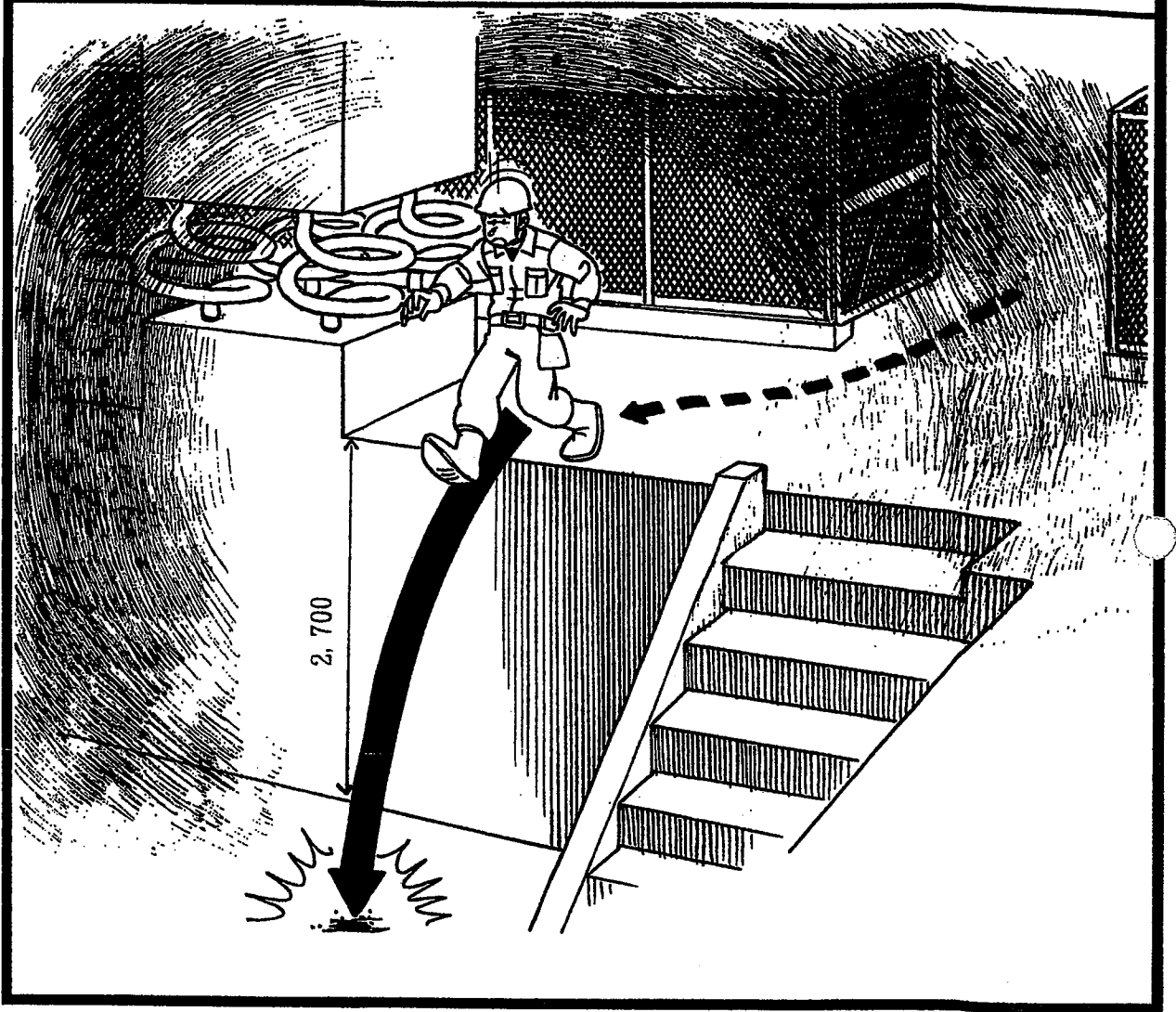
建築	工種: 金属・板金工事	事故の型: 墜落・転落
事故の分類	発生日時・天候: 2000.10.19 (木) 18:45 曇	起因物: ステージ
	被災内容: 頭部脳挫傷	損失日数: 7500日
	職 種: 金物工	請負関係: 2次
事故の発生状況	経 験: 0年2ヵ月	年 齢: 30才 (男)
	発生状況	屋上で荷搬出入用開閉扉の下部の丁番を取付けようとして、座位の姿勢をとり、手摺と巾木にもたれかかるような状態で作業を行っていたところ、体重をかけていた巾木が仮置きであったため動き、その反動で後向きに墜落し、頭部を強打した。
	原因	被災者は安全帯を使用しなかった。 仮設の安全点検が不備であった。
対策	端部高所作業では必ず安全帯を使用する。 仮設の安全点検は確実に実施する。	

声をかけられ振りむき、足が滑って転倒



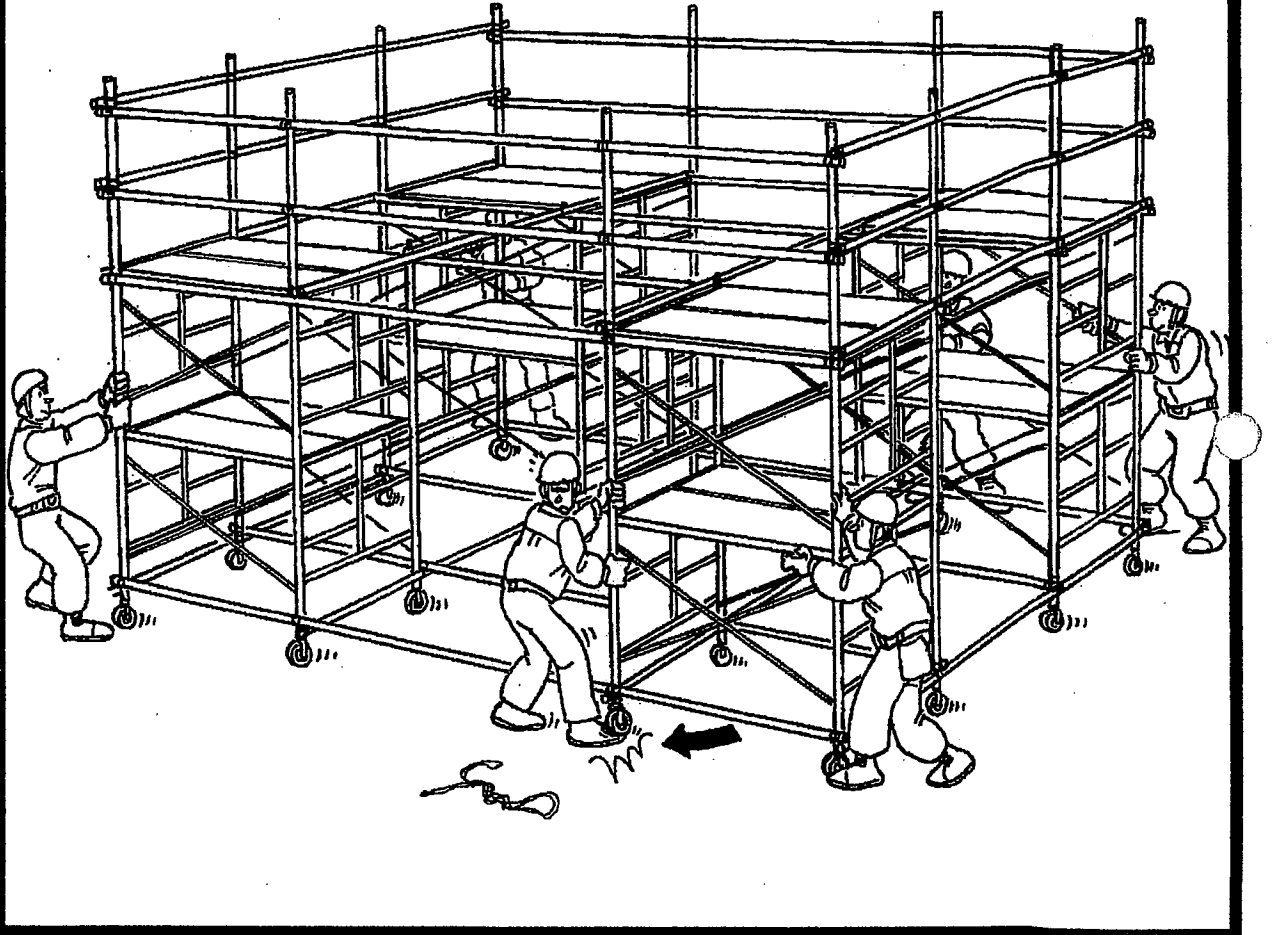
建築	工種: その他(仕上)工事		事故の型: 転倒
事故の分類	発生日時・天候: 2001.1.29 (月) 9:00 晴		起因物: 声
	被災内容: 右手首骨折	損失日数: 11日	職種: 防水工
	経 験: 19年0ヵ月	年 齢: 50才(男)	請負関係: 3次
事故の発生状況	発生状況	作業場所を歩行中、後ろから声をかけられて振りむいた際、左足が滑ってバランスを崩し右手をついた。その際手に体重がかかり手首を骨折した。	
	原因		
	対策		

照明不足によりコンクリートスラブ端部より墜落



建築	工種:雑工事	事故の型:墜落・転落
事故の分類	発生日時・天候:2000. 7. 24(月) 9:05 晴	起因物 :コンクリートスラブ
	被災内容:足腰打撲胸椎圧迫	損失日数:17日
	職 種 :土工	請負関係:2次
	経 験 :8年6ヵ月	年 齢:41才(男)
事故の発生状況	発生状況	被災者は免震装置の隙間を測定しようとし、床がまだ続いていると勘違いし免震装置のあるコンクリートスラブより1段下のコンクリートスラブへ2.7m転落し負傷した。
	原因	<ul style="list-style-type: none"> ・スラブ端部の養生がなかった。 ・照明が不足していた。
	対策	<ul style="list-style-type: none"> ・スラブ端部には必ず親網・手すりを設ける。 ・必ず作業を行うのに必要な照度を確保してから作業を行う。

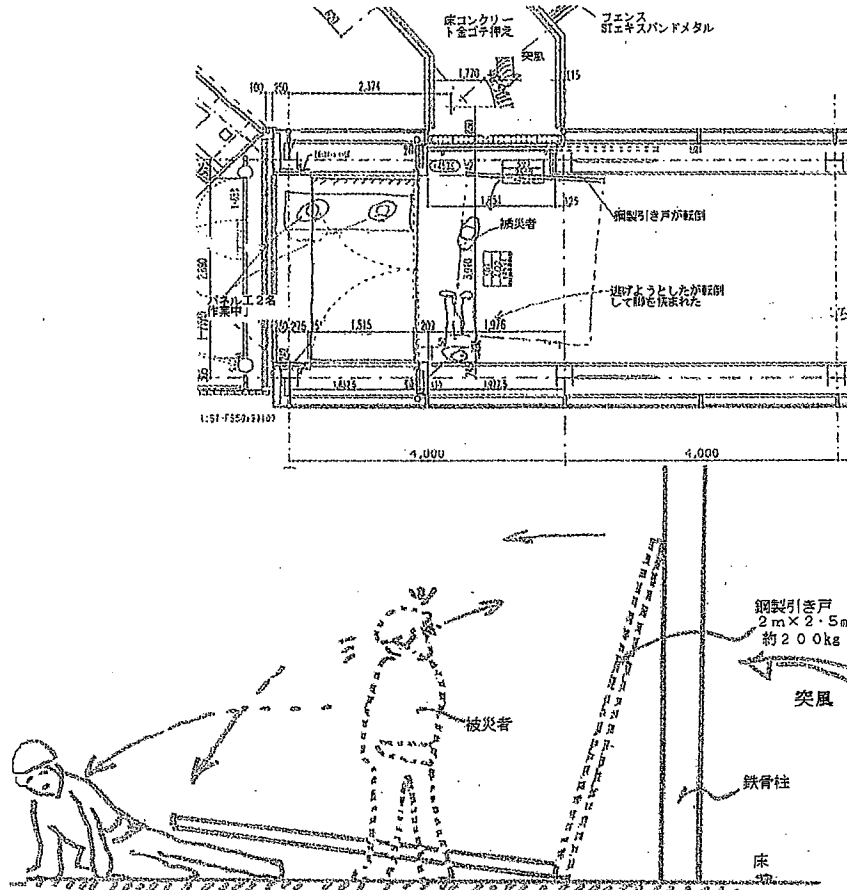
ローリングステージの移動中、車輪に右足つま先を挟まれ負傷



建築	工種:内装工事	事故の型:はさまれ・巻き込まれ
事故の分類	発生日時・天候:2000.9.8(金) 10:40 曇	起因物:移動足場
	被災内容:足指骨折	損失日数:11日
	職 種 :内装工	請負関係:3次
事故の発生状況	経 験:28年0ヵ月	年 齢:48才(男)
	発生状況	被災者は隣接区画にあったローリングステージを自らが受け持つ区画に移動するため、職長他4名の作業員の助力を得て手で押して移動を開始した。その際進行方向に後向きで引っ張っていた被災者が、誤って右足つま先を車輪に踏まれ負傷した。
	原因	・被災者は安全靴を履いていなかった。
対策	・必ず安全靴を着用する。	

NO	区分	作業の種類	事故型	傷病程度	年齢	所属
4	建築	金属工事 (準備作業)	崩壊・倒壊	損失 73 日 (胸部・坐骨骨折他)	50 才	1 次

発生の状況 歩道橋の鋼製建具工事のため、移動式クレーンで歩道橋内に取り込み鉄骨柱に立てかけて仮置きしていた鋼製引き戸扉 (w=2000、H=2500、200kg) 1 枚が突風に煽られて内側に倒れ、室内床上で金属製天井パネル取付け作業の確認をしていた被災者 (他職作業員) に倒れかかった。



—TAISEI OHSMS 作業標準— 類似作業 (仕上偏) (7) 金属製建具工事 3 鋼製建具・防火戸取付作業

NO	作業の順序	どんな危険があるか (予想される災害)	評価	私たちはこうする (防止対策)	誰が
2	製品の保管	<ul style="list-style-type: none"> 荷崩れ、転倒により挟まれる ※強風で立てかけた製品が倒れる 	●●	<ul style="list-style-type: none"> 開口部近くの保管は避ける 飛散、転倒防止のためロープ掛けをする 長尺材は平置きする 	作業者
リスク評価	高い	●●●	5	<p><コメント> 物の置き方、積み方の基本がおざなりになって発生させた災害です。 ◆建具、ガラス、型枠パネル等での類似の災害が多発しています。 資材の仮置きといえども作業標準をもとに十分な対策を立てて作業を行うことが重要。 (当日は午後から風が強く吹いて、事故発生時は瞬間的な突風があり、これに煽られて倒れたもの)</p>	
	やや高い	●●	4		
	中	●	3		
	やや低い	▲▲	2		
	低い	▲	1		

※ は、本災害発生に伴う追加事項-